

# 空知ブロック女性部員研修会

空知管内より商工会女性部員約80名が集結！  
20年ぶりに妹背牛町で空知ブロック女性部員研修会が開催されました。

9月6日、空知ブロック女性部員研修会が町民会館において盛大に開催されました。妹背牛が会場になったのは20年ぶりで、各ブロックより総勢約80名が集結し、妹背牛温泉、ペルでの昼食後、カリーングホールや郷土館、またJAの空き店舗を利用した「わかち愛もせうしひろば」などを見学しました。研修会では、北海道空知管内商工会女性部連合会々長廣川愛子さんより、「人口減少、高齢化、空き店舗の関係はどこの地域も抱えている重要な問題。この研修会で女性部員同士の交流を深め、情報交換を図りたい。」と挨拶されました。また、「JA空き店舗の利活用」と題してNPO法人わかち愛もせうし理事長水上明氏の講演も開催され、空き店舗で行われている活動の、わか



ち愛食堂やふまねつと運動などが紹介されました。「地域の人たちが交流できる場になり、お互いに支え合う意識が高まれば地域活性につながる」といいます。今後の課題としては今の活動を次世代がどう担っていくかが重要なポイントになってくる」との水上氏の講演をうなずきながら熱心に聞き入っている方が多数見受けられました。



最高賞受賞に喜ぶ浅田さん 最高賞に輝いた浅田さんの作品

第47回全国書道コンクールに寄せられた11,191点の作品の中から、浅田美奈さん、稲毛茜さんの作品が最高賞を受賞されました。浅田さんは滝川市で看護師として働きながら、今回の作品に打ち込みました。「4文字のバランスが難しく全体を丸い感じに仕上げるのに苦労した」と話す浅田さん。しかし小学校のころから書道を指導している松田洋子さんは、「筆のリズム感が旺盛で楽しく立ち向かった傑作」と絶賛。「静かに心を踊らし書を楽しんでいる姿に私も心が和みます」ともお話にな

## 第47回全国書道コンクール

## 最高賞受賞

なりました。また、同じく最高賞に輝いた稲毛茜さんは、現在高校3年生。部活動と勉強に追われながらも今回の作品を出展しました。「文字の太く、細くと変化をつけるところが難しかった」と自身の作品を振り返ります。松田先生からは「線の太細の変化、軽快なりズムで伸び伸びとした作品、感性溢れる表現で心静かな感動作」と好評されました。書を楽しむ、ずっと努力されてきたお二人。最高賞と共に笑顔も輝いていました。



最高賞に輝いた稲毛さんの作品 最高賞受賞に喜ぶ稲毛さん